



第三回
未来を拓く兵庫企業
表彰式

とき 令和三年四月九日(金)午後一時
ところ 兵庫県

松村石油化成株式会社

代表取締役社長 前田 淳 氏

— 「ひょうごオンリーワン企業」に認定された感想をお聞かせください。

入社後、技術部に配属されて最初に取り組んだメインテーマがシールドトンネル掘削機用テール部止水材の開発でした。開発と営業支援に携わって数十年間国内及び海外のシールド工事現場を訪問し、失敗と成功を何度も繰り返してようやく商品化した「テールシーラー」が今回「ひょうごオンリーワン企業」に認定されるきっかけとなったこと、私自身大変名誉なことだと喜んでます。

また、社員も当社の製品が選定されて、一から当社独自の配合・設備・製造ノウハウで製品化されたものですので、大変感激しております。

お客様の「貼りたい、止めた
い、塞ぎたい」のニーズに対し、「練る・混ぜる」の独自配
合技術で応えます！

— 御社の事業について、教えてください。

シーリング材、接着剤、土木用資材、工業用ゴム製品、及び合成樹脂製品の製造・加工が主な弊社の既存事業です。シーリング材(主にパテ)の主な用途は、身近な例としては、エアコン取付施工時に壁穴貫通部のすき間充填に使用されます。土木用資材の主な用途は、大口径トンネル掘削工事における掘削機の止水材や中小口径トンネル掘削工事における掘削機添加剤と推進工事やケーソン工事で滑材が使用されます。工業用ゴム製品は、主にブチルゴムを主成分とする押出成形した未加硫粘着テープを広い用途で提供しています。

弊社は多くの合成樹脂の基本性能を活かしたパテ状製品と未加硫ブチルゴム基本性能を活かしたベルト状製品を提供しています。

PROFILE

1957年兵庫県生まれ。1980年大学の工学部応用化学科を卒業後、松村石油化成株式会社の技術部に入社。2009年技術部長就任、2012年取締役技術部長就任、2016年常務取締役就任、2018年代表取締役社長就任、現在に至る。趣味は卓球と中国語を楽しむことで、休日は健康維持のためにジムに通っています。



本社外観

―事業の始まりは、冷蔵庫用のシール材とお伺いしました。

親会社の松村石油株式会社が潤滑油の取引があった冷蔵庫メーカーから「溶接で組み立てられる電気冷蔵庫の外箱のすき間から水分や外気の浸入を防ぐためのシール材」の開発、製造を依頼されたのが始まりで、その後何度も何度も、試作を繰り返し、国産で初めての冷蔵庫用シール材が誕生しました。そして松村石油化成株式会社は、1967年11月に電気冷蔵庫用のシール材などを製造することを目的として設立されました。

―経営者として大切にしていた想いは何ですか？

当社は1967年に誕生し、2017年には創業50周年を迎えることができました。過去、白物家電産業が全盛の時代には、その市場に合った製品をお客様と共に創り上げ、公共投資が全盛の時代には、お客様の特殊要望にお応えし、数多くのオンリーワン製品も創り上げてきました。当社の強みは、ニーズに対する速やかな対応とスピーディーな開発力です。これからも世の中のニーズにしっかりと応えする所存です。

また、製品をお客様に納めて終わりではなく、いかに製品を有効に使用していただけるかも重要となるため、使い方までを含めて、お客様と一緒に考えるということも行っています。



創立50周年記念写真

―ニーズ・シーズなど、最新の情報を獲得するためにどのように感度を高めているか教えてください。

毎年、神戸市で開催されるものづくり展に出品しており、弊社のシーズを発信するだけでなく、展示会の来客様からニーズを得るために、弊社のブースに立ち寄られて名刺交換されたお客様には全て、展示会後すぐに会社訪問するようにしています。

今年度はコロナの影響もあり、従業員の安全を考慮し出展を辞退しましたが、これまでも「神戸市中小企業ものづくり展示商談会」には毎年出展していました。もちろんその展示商談会から実際の取引に結び付いたこともありますし、何よりも松村石油化成という名前を覚えてもらうという意味で毎年出展することが重要だと考えています。

―従業員の働き方改革や教育にも力を入れているとお伺いしました。

従業員が安定した生活と収入を得るために、会社・従業員がお互いに協力し合える関係を目指していく必要があると考えており、5つの取り組み項目を掲げています。

- ・毎月末、部署間の交流を図るため、社員全員参加の月末懇談会を実施。
- ・提案制度、QCサークル活動を毎年実施し、業務改善に取り組む。
- ・創業以来8月は会議は開催せず、リフレッシュ月間を実施。
- ・毎週月曜日の始業時は全員参加の朝礼を実施し、週目標の喚起を促す。
- ・育児、介護についての相談窓口の設置。

この取り組みを評価いただき、令和2年度「ひょうご仕事と生活の調和推進企業」に認定いただきました。

また、テレワークも推進しており、兵庫県が提供している「テレワーク兵庫」も利用し、自宅で会社のパソコンの画面と同じものを触れるようになっています。

資格取得についても、受験費用や交通費も会社から支給するなど、様々な取り組みを行っています。過去からも全体教育を中心とした人に対する投資は行ってきましたが、個人毎の力量を上げることが必要と考え、従業員一人一人への教育に力を入れるという方向に転換していきました。



ニーズに対する速やかな対応とスピーディーに開発を行う様子

—デジタル技術も積極的に取り入れられているとお聞きしました。

2020年に開設した小野工場にも、デジタル技術を取り入れています。小野工場開設のきっかけは、弊社の現行の生産ラインでは生産量に限界があるため、新たな生産拠点を探していた中、協力会社の事業撤退により、小野工場を新たに開設することになりました。

この小野工場には、リモート環境でも使用できるデリバリーシステムというものを導入し、都度本社の方に製品を持ってくることなく、小野工場から直接出荷できる仕組みを準備しました。これにより、従業員の手間を削減し省力化に繋げることができました。

デジタル化には非常に大きなメリットを感じています。今までのやり方を変える必要はありますが、それを導入することにより売り上げが伸びたり、経費が削減できたり、本質的には従業員の負荷軽減に繋がると考えていますので、今後も積極的に取り組んでいこうと思っています。

—「オンリーワン企業」をめざす企業へのメッセージをお願いします。

2018年通常国会で働き方改革関連法（正式名は「働き方改革を推進するための関係法律の整備に関する法律」）が成立しました。

仕事にやりがいや充実感を感じ、責任を果たしながら、その一方で、子育てや介護、家庭や地域での生活、自己啓発などといった、個々の私生活も充実させる会社と一緒に目指していきましょう。



小野工場での作業の様子

TECHNOLOGY

独自の難燃技術を応用した難燃性「テールシーラー」の開発



東京湾アクアライン工事・川崎人工島



テールシーラー® (テールシール部止水材)の外観

近年、地下空間の有効利用に伴う大深度トンネルの施工が多くなっています。当社では、いち早くシールド掘削機のテールシールパッキンの止水性に着目し、さらに高水圧に対する止水性及び耐久性に優れた新しいテールシーラー(裏込剤硬化遅延型、難燃型)の開発に努力してきました。

現在まで 3,000 か所以上のシールド現場に実績があり、イギリスとフランスを結ぶドーバー海峡トンネル及び東京湾横断道路の大プロジェクトにも使用され、テールシーラーの止水性及び耐久性において、国内はもちろん海外においても高い評価を得ております。

開発に至った経緯

シールド工事の高深度化に伴い、シールド掘削機の高水圧対策が緊急の課題となってきた昭和 56 年当時、高水圧下でのテールシールの止水能力が重要なポイントとなり、従来のグリース系止水材では瞬時に水漏れを起こすため、これに耐えうる止水材の開発が要請されていました。

時を同じくして、昭和 57 年に東京電力及び石川島播磨重工業から、弊社に対して高水圧対応の止水材の開発依頼があり、高分子材料をベースにし、一部特殊な植物性繊維、鉱物油等を添加したもので、 8 kg/cm^2 もの高水圧でも止水性と潤滑性を有するこれまで例のない止水材を開発しました。

独自性

過去にある建設工事において火災が発生したことがあったのですが、火災を今後回避すべく、難燃性の止水材が必須の条件となりました。弊社は難燃性のパテの技術を持っていたため、迅速に難燃性のテールシーラーを開発供給することができました。

今後の展望

熱硬化性樹脂の真空成形時の一次シール材への展開として、再剥離性に優れる多目的なベルトシーラーであるネオベルト RP140 は、 120°C 以上で反応を開始し、金属またはフィルムから容易に剥離可能なため、 140°C 程度までの再剥離を前提とした一時的なシールに適した材料となっています。

使用用途としては、金属に変わる軽さと強度を求められる複合材料に含浸した熱硬化性樹脂成型時のシール分野への展開を行っていく予定です。

TOPICS

ネオシーラーAT-S のご紹介。

車両製造時のスポット溶接に使用するシール材であり、大手車両メーカーより鋼板等のスポット溶接時の接合面に塗布し、空気、塵埃(じんあい)および水の侵入を防止するシール材の開発依頼があり、過去に試作を繰り返し製品化できました。



令和元年度「神戸市環境奨励賞」を受賞。

製品のリターナブル容器の使用による廃棄物の発生抑制・再使用・再生利用を中心に、地球温暖化防止対策や社内環境教育を行っており、環境保全に大きく貢献していることが認められました。



沿革

- | | | | |
|-------|--------------------------|-------|---------------------------|
| 1961年 | 冷蔵庫用の「ネオシーラー」を開発 | 1990年 | 社名を松村石油化成株式会社と変更 |
| 1967年 | 近畿化成工業株式会社を設立 | 1992年 | 推進工法用加泥材「ホリダス」を開発 |
| 1983年 | シールド掘削機用止水材「テールシーラー」を開発 | 1994年 | 「テールシーラー」を東京湾横断道路工事に納入 |
| 1984年 | 西神工業団地に本社工場及び研究室を建設移転 | 2001年 | 増産体制(倉庫及び加工工場)のため第3号棟建設 |
| 1987年 | 推進工法用滑材「ネオモール」を開発 | 2013年 | ISO9001 に適合登録 |
| 1988年 | 「テールシーラー」をユーロトンネル掘削工事に納入 | 2020年 | 小野工場を開設
ひょうごオンリーワン企業認定 |

会社概要

所在地 〒651-2271 神戸市西区高塚台2丁目1番4号
 従業員数 30名
 電話 078-991-3355
 資本金 3,600万円
 FAX 078-991-3358
 設立 1967年11月
 URL <http://www.matsumura-oil-chemical.co.jp/>
 代表取締役社長 前田 淳

事業概要

シーリング材、接着剤、土木用資材、工業用ゴム製品及び合成樹脂製品の製造、加工